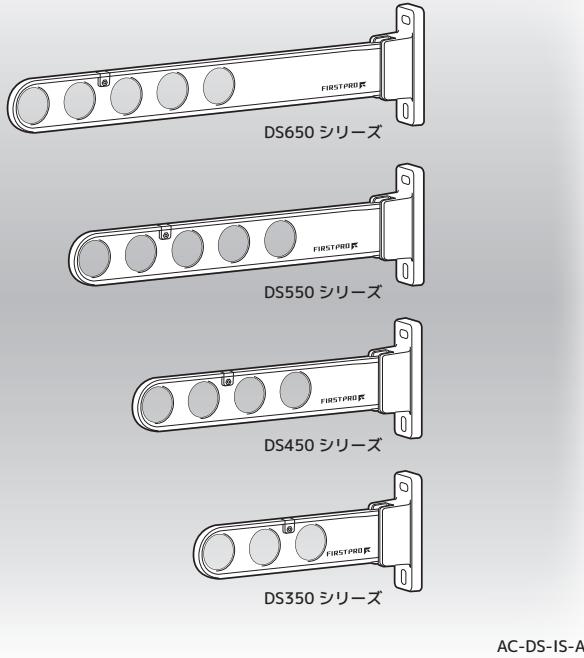


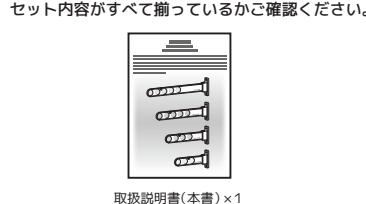
取扱・施工説明書

腰壁用物干金物 デイリースイング

このたびは、「腰壁用物干金物デイリースイング」(本製品)をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この取扱・施工説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。本書に記載されている以外の方法で、使用しないでください。不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。



セット内容



※製品は組み上がった状態で梱包されています。

※取り付け金具(ボルト/アンカー)は付属しておりません。

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

表示	表示の内容
△ 警告	誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が想定されます。
△ 注意	誤った取り扱いをすると、軽傷を負ったり、物的損害が想定されます。
!! 確 認	製品の取り扱いにおける確認事項です。
○ 禁 止	製品の取り扱いにおける禁止事項です。

△ 警告

△ 本製品は洗濯物干掛けとして使用する製品です。洗濯物干以外の用途で使用しないでください。

△ 本製品の可動部分に手や指を入れないでください。

※ ケガの原因になります。

△ お子さまが本製品や物干竿により登ったり、遊んだりしないように注意してください。

※ 思わぬ事故やケガを負う恐れがあります。

△ 故障や不具合を発見した場合は使用を中止し、販売店もしくは株式会社水上までご連絡ください。

○ 分解および改造をしないでください。

△ 本製品や物干竿にもたれたり、ぶら下がったりしないでください。

※ 破損や故障の原因になります。

○ 本製品の近くに踏み台となるようなものを置かないでください。

※ 転落事故の原因になります。

△ 注意

○ ロープや紐などを掛けで使用しないでください。

※ 本製品に横方向の荷重がかかり、破損や故障の原因になります。

○ 必ず物干竿を使用してください。

○ 洗濯物以外の重量物を掛けないでください。

※ 破損や故障の原因になります。

○ 強風時には、洗濯物を干さないでください。また洗濯物を干している場合は取り込んでください。

お手入れ方法

製品を安心してご使用いただくために、日常的に清掃・点検をおこなってください。

● 通常のお手入れ方法

- 柔らかい布に水、またはぬるま湯を含ませ、かたく絞ってから洗ってください。
- 乾いた布で十分にふき取ってください。
- 汚れがひどいときのお手入れ方法
- 適度に薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。
- 柔らかい布に水、またはぬるま湯を含ませ、かたく絞ってから洗剤をふき取ってください。
- 乾いた布で十分にふき取ってください。

△ 注意 製品の表面を傷める恐れのある下記のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉などの研磨剤を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
- ナイロンたわし、メラミンスポンジ、ブラシなど
- ベンジン、シンナーなどの溶剤

● 廃棄される場合：各自治体の区分に従って廃棄してください。

製品の仕様

本製品は、洗濯物干掛けとしてお使いいただく屋外用物干金物です。

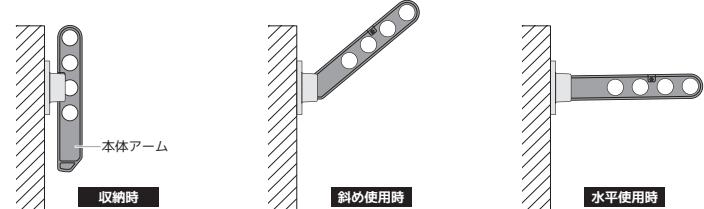
製品名	腰壁用物干金物デイリースイング	DS650シリーズ	DS550シリーズ	DS450シリーズ	DS350シリーズ
サイズ(水平時全長)	650mm	550mm	450mm	350mm	
製品イメージ					
色名/品番	ホワイト DS650WH	DS550WH	DS450WH	DS350WH	
ブラック DS650BK	DS550BK	DS450BK	DS350BK		
ステンカラー DS650ST	DS550ST	DS450ST	DS350ST		
シルバー DS650SV	DS550SV	DS450SV	DS350SV		
材質	アルミダイカスト・ポリプロピレン・ステンレス				
使用荷重	30kg(2本1組で使用した場合)				

※ 製品の外観および仕様は品質向上のため、予告なく変更することがあります。

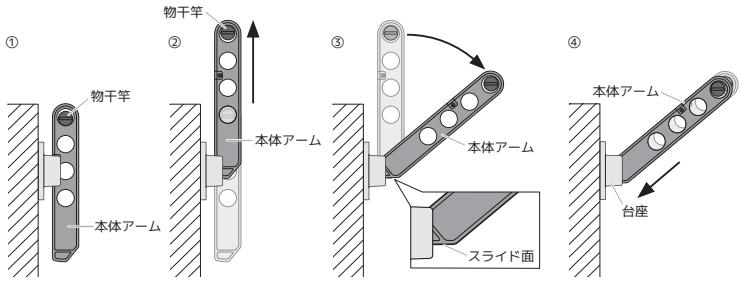
製品の特長

- 用途に応じて2段階の角度(斜め・水平)で使用できます。
- 使用しない時は、物干竿を掛けたままコンパクトに収納できます。
- 設置スペースに応じて4つのサイズをご用意しました。
- 様々なエクステリアと調和する4つのカラーをご用意しました。
- 材質は鋳に強く丈夫な、アルミダイカスト・ステンレス製です。

本体アームの操作方法



収納時から斜め使用時への操作方法



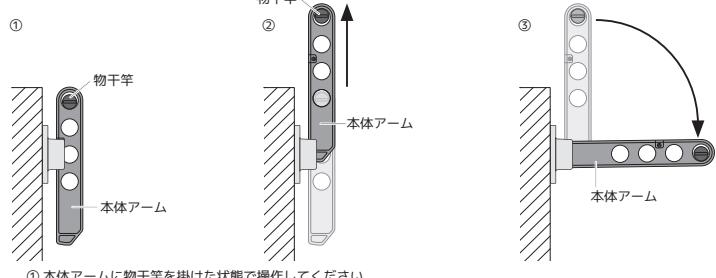
① 本体アームに物干竿を掛けた状態で操作してください。

② 物干竿の中央部分を持ち、本体アームを上方に止まるまで引き上げてください。

③ スライド面が水平になるまで、本体アームをゆっくりと斜めに倒してください。

④ 本体アームを台座に向かって押し込んでください。

収納時から水平使用時への操作方法



① 本体アームに物干竿を掛けた状態で操作してください。

② 物干竿の中央部分を持ち、本体アームを上方に止まるまで引き上げてください。

③ 本体アームが水平になるまで、ゆっくりと倒してください。

● 本体アームを個別に操作する際は、必ず物干竿を外した状態で行ってください。

※ 物干竿が落しケガを負う恐れがあります。

施工説明書

施工業者様用

腰壁用物干金物 デイリースイング

安全上のご注意

必ずお守りください

- 安全のために、必ずこの施工説明書(本書)をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
- 製品を確実に設置するために、専門業者が施工することを推奨します。
- 製品が正しく設置されていない状態での事故、破損等については当社は一切の責任を負いません。
- 本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。

表示	表示の内容
△警告	誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が想定されます。
△注意	誤った取り扱いをすると、軽傷を負ったり、物的損害が想定されます。
!!確認	製品の取り扱いにおける確認事項です。
🚫禁止	製品の取り扱いにおける禁止事項です。

△警告

- 事故を防ぐために、建築構造を理解された専門業者が施工してください。
- 建物の内部構造を把握のうえ、十分な軸体強度のある場所に設置してください。
- ペランダやバルコニーの手すりの外側に設置しないでください。
※物干竿や洗濯物等が落し下し、人に当たるなどケガや事故の原因になります。
- 分解および改造をしないでください。
- 非常口／避難ハッチ／換気口などの妨げになるところには設置しないでください。
- 段差や激しい凹凸のある壁に設置しないでください。
※脱落の原因になります。

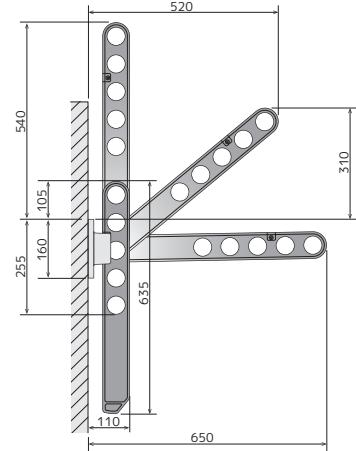
△注意

- △外壁材と下地材の厚みや材質を考慮し、適切な取り付け金具をご用意ください。
- △外壁材と下地材の間に中空部がないことを確認してください。
※外壁材の破損の原因になります。
- △設置する際は、外壁材にひびや割れが入らないように注意してください。
また、外壁材の下穴および本製品との隙間には、必ず防水処理を施してください。
※浸水の原因になります。
- △設置後はガタツキがないか必ず確認してください。

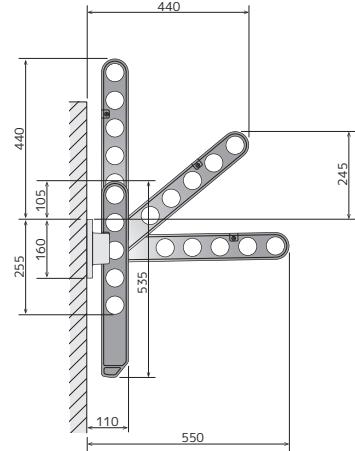
設置スペース

- 設置前に製品を使用するために必要な可動スペースを考慮に入れてください。

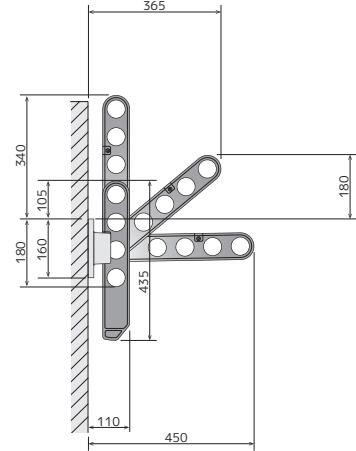
DS650シリーズ



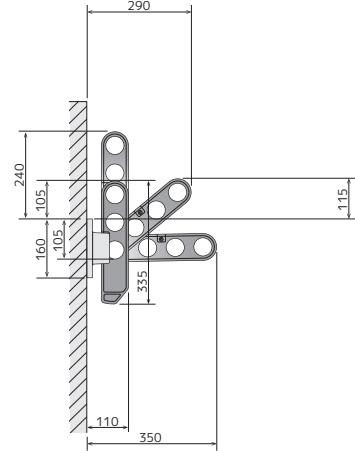
DS550シリーズ



DS450シリーズ

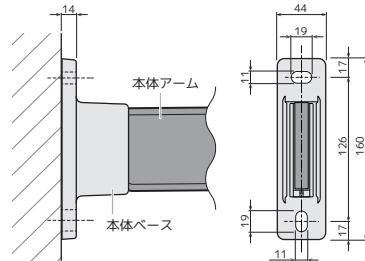


DS350シリーズ



取り付け金具(ボルト／アンカー等)の寸法

- 取り付け金具(ボルト／アンカー等)の推奨呼び径は、M8~M10の平座金付きとなります。
- 取り付け金具(ボルト／アンカー等)のピッチ(距離)は、122~130mmです。

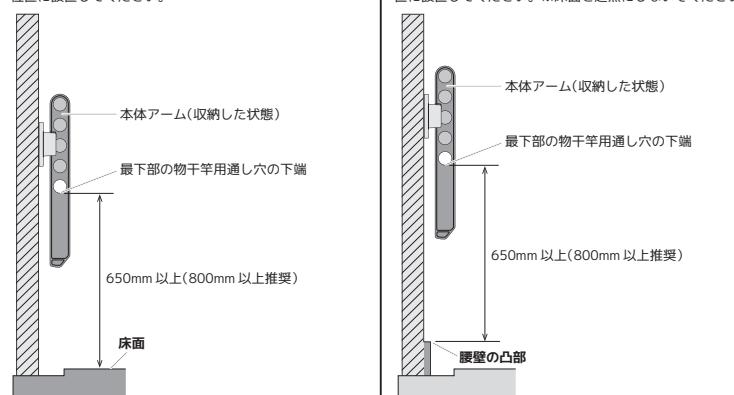


設置する高さについて

- 安全確保のため、必ず指定する高さで設置してください。
※指定以外の高さで設置した場合、お子さまがよじ登って転落するなどの事故につながる恐れがあります。

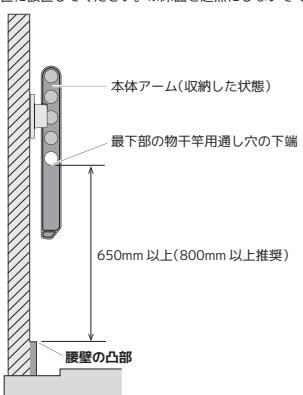
通常の腰壁に設置する場合

本体アームを収納した状態で、床面から一番下の物干竿通し穴の下端までの高さが、650mm以上(800mm以上推奨)の位置に設置してください。



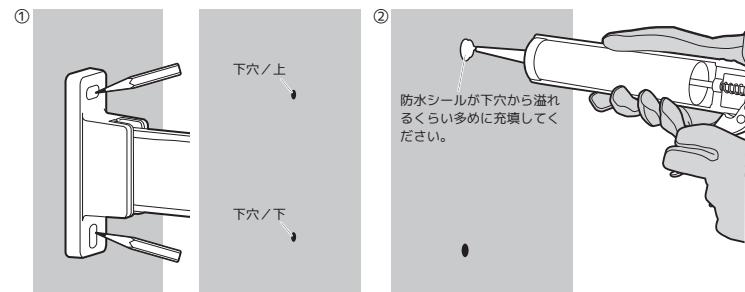
凸部などの足掛けりが腰壁や手すりにある場合

本体アームを収納した状態で、腰壁の凸部から物干竿通し穴の下端までの高さが、650mm以上(800mm以上推奨)の位置に設置してください。※床面を起点にしないでください。

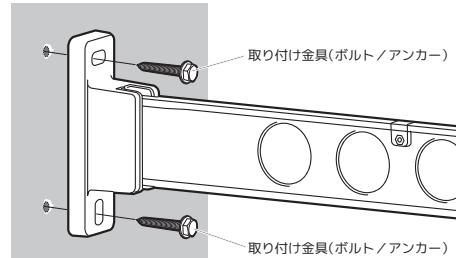


施工方法 本施工方法は木下地での一例となります。設置場所に適した施工方法で設置してください。

- 設置する位置を決め、下穴(上下2箇所)を開けてください。
- 下穴(上下2箇所)に防水シールを充填してください。



- 取り付け金具(ボルト／アンカー等)に防水シールを塗布し、本製品を固定してください。
※壁内への浸水防止のため、必ず防水処理をしてください。



- 必ずガタツキがないか確認してください。

- 固定した本製品の周囲をマスキングし、本体ベースと壁面との隙間に防水シールを充填してください。
※壁内への浸水防止のため、必ず防水処理をしてください。

